

NyQuilCaps

Told u so

Lyrics: KECHA, Sakai / Produce: NF Zessho

平行線を離れて 合流を誓うこのtravelling
ゆらぎの中に光るイメージを追いかけていく
I'll get there
この身をflowに委ねて 浮かべばfeel no gravity
想いの螺旋を伝えていけ 果てへ行こう

今開けるブラインド 俺は世界に怯えていた
母の背中に隠れては多くを語らない友を並べていた
人との間にレゴを積み上げて感情を隠し通した日常
ハンコ注射の跡よりも残る摂氏零度の眼差しとか言動
吃音持ちで鬱のASD ベッドに縛る病の片結び
医者が処方するテトラミドじゃ効かずに
探していた本当の薬
親が願った大きな斗升のような器
俺は持てないまま
目の前にロウソクと香炉
CAROLとカタナに乗り親父は空へ走った
感じ切ることには疲れて
でも想えなくなるのが嫌で
この不器用な叫びを詩にした
それを受け取って口ずさみ踊ったCLAN
その言葉以上の価値をただ守りたくて続けていた
条件付きではない愛が幸せの合図
あの時に気づいてしまった
人には見えない闇を知り
そこで受けた光を皆へと返す
これは誰でも出来ると思った
俺しか出来やしないんだと分かった
今壁は壊し 螺旋状に高く積み上げる七色の階段
皆で違う景色を見ながら同じ希望を持ち登っていく空

振り返るOne Way
裕福な家庭 愛犬に広い家
ガレージに赤いベンツ
料亭の倅の親父を皆呼んだ 二代目
だがいつか自分で光ってみたいと願い
安らぎを捨て追った夢
まあ現実残酷 無表情の差し押さえ勧告
アパート 3万 7人
姉貴 金あるフリしている学校
バイトでベンツを洗ってる親父の元を友は去って一人になっても
“大丈夫”と言い笑ってる
夢なんて惨めでクソだと思ったから
良い大学に良い会社 不透明な未来を磨いた
見違えた部屋に一人 なぜか何も見えない窓
望んだはずの暮らし
空は飛べなくても落ちなけりゃ安心
身の丈を思い知らせてる吊り革に縋って
振り出しを恐れている毎日
だけど本当はずっと分かっていた
あの微熱だけが自分だって
間違っているのはお前だと叱ってほしくて
もがいてるあいつを否定した
そんなガキは声を聴いた
左から右に移るスピーカー 皆そこにいた
俺を導いた光
銀河の隅, GREEN HOUSE, OK CLAN

鳴り出したベル 中野発のトレイン
俺もまんまと終わらない夢を見てる
握るコインに熱が移るように
消えることのない想いを抱きしめ旅に出る
その希望のflameが俺の細い両目にも
映るならば終わりではない
面影のあるあの子がいつも笑っているのを見て
あなたの成功を知った
意味を失っていく敗北
昨日を弾いて高く飛び Shine on
時に影を長くする斜陽
いつか綺麗だと思えるぜ I know
気づけば俺も眩いている 大丈夫
信じさせてくれるヤツらに愛を
この人生でよかった
きっと消える前に言うんだよ

平行線を離れて 合流を誓うこのtravelling
ゆらぎの中に光るイメージを追いかけていく
I'll get there
この身をflowに委ねて 浮かべばfeel no gravity
想いの螺旋を伝えていけ 果てへ行こう

ようやく返事が書けて
お互いの座標を知らせて
受け取ったヤツが手を上げて
それだけで夜は明けていく
きっと思うより呆気ねえ
いつか一本の光線になって消えるなら
最後に答えを合わせて笑えていればいい